

コチラから
パスワードが
発行できます



K様ご夫妻&元保護犬のワンちゃんと設計施工担当の大坂
2階から勢よく降りて来て、いつも歓迎してくれたワンちゃんがお年を召して膝にスリスリする穏やかな歓迎になり少し悲しい(大坂)

ご要望

二世帯でお互いの生活ペースが守れ、ストレスなく、近くにおいて安心な暮らし。明るく広々としたLDK。子供とコミュニケーションが取れる間取り。何より安心して安全な家づくりをお願いしました。コストがかかっても良い物で納得出来れば取り入れたい意志があったので、良く話を聞きながら計画して行きました。

設計士のこだわり

三角に近い変形地のため最大限に土地を活用できるよう、社内でコンペ的に幾つもプランを練りました。2階LDKは、採光の良い場所に配置、より広がりを感じられる勾配天井としました。子供部屋は顔を合わせる機会の多いリビング面に配置。1階2階とも無駄な廊下をなくし、広々と通風と採光を考慮した間取りと収納スペースも充分確保しました。

優建築工房
お宅訪問

一言芳思

一言芳思 (いちごんほうおん) : あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに・・・

海老名市新築 K様邸 ~確かな知識と堅実さを求めた家づくり~
今回は完全二世帯のK様邸を訪ね、お引渡しから17年後の住まいについて伺って参りました。

きっかけ

様々な住宅の性能、工法、特長、素材について勉強した上でメーカー系、工務店等と検討していたところ、優さんの自然素材の家に興味を持ち、ご連絡したのがきっかけです。工法や素材等について質問をすると、直接、設計の方が対応してくれ、すぐに的確な応えが返ってきて知識に安心したこと、また常々、工法や素材がどんなに良いものでも、会社として当たり前のことを当たり前にするのが一番大事だと思っていたので、その辺りの対応も良く、知識の深さもあり、堅実な会社だと思い、お願いすることにしました。建てっぱなしとにならない様お願いしましたが、今まで実践継続してくれ、メンテも迅速に対応してくれています。工事中はよく現場を見に行きました。職人さんが帰った後の整理



17年前の地鎮祭の様子。お子様はまだ小学生でしたが、取材時にはお嬢様がすでに嫁がれたと伺い、月日の流れに驚いた大坂です。



ご安心いただけた現場状況、いまま変わらず励行中。こちらは現在進行中の現場の様子となります。

1階



敷地: 262.2㎡ (79.3坪)
延床面積: 210.3㎡ (63.6坪)
1F: 118.4㎡ (35.8坪)
2F: 91.9㎡ (27.8坪)

2階



暮らしてみて

17年経過したが自然素材ならではの柔らかな表情がとても落ち着きます。床暖房用の無垢材を採用しましたが木の収縮は納得済みで、それよりも心地よさを取って正解でした。陽当りも良く、遮断熱に効果的なガラスを取り入れ、セルローズファイバーを屋根裏、床下へ入れているので、真冬でも日中は暖かく床暖房は夕方から夜にかけて入れるだけで十分。ガス式なのでそれほどコストが高いわけではなく気持ちの良い暖かさで満たされます。これは母も入れて良かったと喜んでいきます。夏場もすごい猛暑日以外ほぼエアコンに頼る事もなく過ごせています。



契約の決め手は大坂さん。よくお話したことで建築知識が豊富なこと、またお人柄で決めました(笑)



子供達が友達を連れて来てロフトの窓から顔を出して遊んだり、皆でビリーズブートキャンプをしたリビングには楽しい思い出が沢山溢れています。畳コーナーは昼寝や書き物に重宝しています。



丈夫な梁でハンモックヨガ



唯一、窓掃除が危険なので足場のない高所の窓配置をするべきでなかった



雨天でも移動が楽な内扉で繋がる親世帯への出入口



広くて自転車も余裕で入る土間と2か所入口があるSCL



大容量のSCL+収納スペース



ご主人の強いご要望であった今は住宅では珍しい男性用トイレ。撥ね防止と意匠性を備えたガラスブロック壁の仕切り。



遮断熱のため取り付け了一風変わった障子付きのトップライト

リピート工事

床クロス張替え、水まわり工事等、奥様経営のジムの内装工事を数年前にご依頼頂きました

女性専用スタジオ

20分フィットネス

相模大野駅近く

スタジオカハラ



検索



PRESENT

応募〆切
5/17(水)

ラバーウッドの stools
4名様へプレゼント

脚部は天然木のラバーウッド、座面は布製、少し硬めなウレタンクッションです。組立品となります。ワークカウンターの椅子として、キッチンでのひと休みの腰掛けとしてご活用いただけそうな stools です。座面の色は明るいグレー。

size 高さ: 46cm
座面: 横幅45cm
縦幅: 31.5cm



メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください

【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望(必須)以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAX・TELにてご応募ください。応募〆切 5/17(水) ご当選者へ発送をもってお知らせ致します。

メール nakamura@yukobo.jp

あて先

ハガキ 〒243-0815 厚木市妻田西 1-20-8 優建築工房
yukoboletter プレゼント係

FAX 046-294-4561 TEL ☎ 0120-873-312

住まいのお手入れ「シロアリ対策」

～特徴や被害例、予防措置について～

住まいの機能と性能を維持して、長く快適に過ごすために、お家のメンテナンスは欠かせません。
このコーナーでは、お家の部位ごとに、日ごろのお手入れやメンテナンスのポイントをお話したいと思います。



シロアリの特徴

我が国には二十数種のシロアリが生息していると言われています。実はその大半は枯れた樹木や落葉などを食物とし、森林再生に大きな役割を果たす益虫としての働きが大きいそうです。私たちの住まいに大きな被害をもたらすシロアリは主に3種です。



ヤマトシロアリ

ヤマトシロアリ

特徴 4月下旬～5月の
昼間に一斉群飛

日本各地で最も生息数と被害報告が多く、乾燥に弱く、地上に現れることはほぼなく、地中や水分の多い湿った木材の中で巣を作って生活しています。行動範囲は狭く、蟻道と呼ばれるトンネル状の道を作って移動します。

イエシロアリ

特徴 7月頃に大量発生し
夜間に群飛

日本では千葉県から西側の海岸線沿いの温暖な地域と南西諸島や小笠原諸島に生息。行動範囲が広く、塊状の巣を次々に建物内や樹木に作りながら被害を拡大させます。自身で水を運ぶ能力があり乾燥した木材も食害し、建物全体に被害が及ぶことも。

アメリカカンザイシロアリ

特徴 3月～11月にかけて
昼間に群飛

もとは日本には生息がなく近年アメリカから家具や荷造材等と共に持ち込まれ、乾燥した木材(乾材)を好みます。今のところ出現頻度は低く、小集団で生活し生息域の特定が難しく、生命力が強いため予防や駆除がとても困難なシロアリです。

被害の実例と処置方法

在来浴室からの漏水範囲の土台が食害を受けた事例

浴室以外でも水漏れ範囲の土台が被害を受けることが多く、特に床下が土むき出しの布基礎の場合はシロアリの生息に適した環境になりやすく注意が必要です。

修繕工事方法 仮支えしながら新たな土台の木材を基礎に取付交換

費用 数十万円から百万円以上 (位置や範囲により変動)



外壁からの漏水範囲の柱や梁に食害を受けた事例

濡れた木材の表面を中心に食害。地面から離れたところでも、木材が湿っているとシロアリの被害を受けることが多いです。

修繕工事方法 全ての食害個所の交換が必要な場合や程度により、被害木材はそのままに、横に補強柱設置、梁下補強など、被害範囲に荷重や耐震性能を負担させない方法もある

費用 数百万円になることも



外壁下地の構造用合板が食害を受けた事例

漏水が原因。蒸れた壁内は広範囲で被害を受ける例が多いです。

修繕工事方法 構造や耐震に重要な部位の場合は、被害の範囲の外壁も解体して合板を新たに貼り直し

費用 数十万から百万円以上 (範囲により変動)



住宅、特に木造住宅にとって大きな被害をもたらすもののひとつがシロアリです。陽気が良くなると活性が上がり、群飛も起きる時期になるので今頃が防蟻処理に適したタイミングです。シロアリ対策は予防が大切で、症状が現れた時には既に大きな被害を受けていることが多いです。シロアリは怖いと知ってはいても、一般的には馴染みがなく、見たこともない方がほとんどでしょう。今回は、シロアリの特徴や被害の実例をご紹介しますとともに、その兆候(シグナル)や対策方法などをご説明したいと思います。

兆候(シグナル)と被害の確認方法

① 春から夏にかけて大量の羽アリを見かけた

黒アリにも羽アリはいます。4枚の羽がすべて同じくらいの長さの羽アリだとシロアリの可能性大です。群飛の兆候は被害が進んでいる可能性があります。逆に群飛してきた場合は羽だけが大量に見つかる場合もあります。どちらの場合も専門業者へ調査を依頼することをお勧めします。



② 床が浮いた感じや、軋んだ音がする

湿気で木材の腐朽が進んだりシロアリの食害が起こると、床を支える木材の強度が下がり、フワフワと浮いた感じやギシギシと軋むことが多くなります。床下を確認できる場合は、該当箇所の床下付近に蟻道が無いか確認しましょう。もし蟻道があれば専門業者に調査と駆除を依頼してください。何も無い場合も念のため調査と床下の補強をお勧めします。



③ 柱や床、窓枠などの木部に小さな穴や木目に沿った溝状の空洞がある

シロアリの食害の過程で、見える木部に穴や木目に沿った溝状の空洞が現れることがあります。クイムシ等の別の害虫の場合もありますが、念のため専門業者に調査を依頼することをお勧めします。特に、アメリカカンザイシロアリの場合は虫孔から差粒状のフンを排出するので、これを見つけた場合はすぐに調査しましょう。



予防対策例(方法とコストなど)

シロアリ対策は、被害を予防することが重要です。ほとんどの建物では新築時には防蟻の処置がされていますので、定期的にこの防蟻処置を継続することが大切です。一般的には保証期間が5年程度ですので、この期間ごとに再施工することが理想的です。再施工に際しては全体的な点検も実施しましょう。再施工の費用の目安は、建物の状況や使用薬剤で異なりますが、1階の床面積1坪当たり7,000円/坪~10,000円/坪程度のことが多いです。また近年では建物に直接防蟻の処理をせず、周辺の敷地にベイト剤と呼ばれるシロアリが好む専用剤を埋め込むことで建物をシロアリから守る方式もあります。この場合は、継続的に管理費が数千円~数万円程度毎年かかります。被害を受けたら、白蟻の駆除と被害個所の補修が必要です。駆除は、同じく建物の状況や駆除方法などで異なりますが、1階の床面積1坪当たり10,000円/坪~20,000円/坪程度のことが多く、被害個所の補修は内容によって大幅に変わりますので、専門業者にご相談ください。

最後に



シロアリ対策の業者については悪質な勧誘や法外な費用請求のトラブルが多いので施工実績や処置方法、保証などをしっかり確認してください。私共でもご相談を承ります。何より建物周辺にシロアリの餌になるような木材を置かない、床下換気口を塞がない等、住まい手による配慮も大切となります。

